

2011年10月～2025年3月に本院の入院・外来問わず、全診療科で一般細菌検査を受けた方へ

研究 院内感染対策でのグラム陰性桿菌の臨床と基礎的研究について の実施について

1. 本研究の目的および方法

意義；より適切な抗菌薬の投与や院内感染対策が可能となります。

目的；臨床で分離された菌株を研究用として使用し、正確な薬剤感受性試験や、また遺伝子検査で耐性状況等を確認します。それによってより適切な抗菌薬の投与や院内感染対策が可能となります。また、基礎的な研究では、基礎研究を進展させ、新たな耐性菌の治療戦略に発展させることを目的としています。

選定理由；緑膿菌、腸内細菌群等のグラム陰性桿菌は、環境中に常に存在する菌で、ヒトにも常に存在することがありますが時に、肺炎、尿路感染、敗血症等の感染症を起こします。このたび尿、血液、痰、膣分泌物等の検体から薬剤耐性菌等が検出されておりこの臨床分離株を研究用として使用します。

研究対象者；2011年10月～2025年3月に本院の入院・外来問わず、全診療科で一般細菌検査を受けた方

試料・情報；尿、血液、痰、膣分泌物等の培地から検出された菌の耐性メカニズムや殺菌効果等の検討
研究全体の期間、予定症例数、および委員会の承認を得ている旨。

研究全体の実施期間は2011年10月～2025年3月までです。予定症例数は300例です。

本研究は、倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

2. 研究に用いる試料・情報の種類および保管方法について

試料；尿、血液、痰、膣分泌物等の臨床分離株

情報；病歴、抗菌薬の治療歴、抗生剤への感受性等

徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔微生物学分野またまた徳島大学 医科栄養学科

予防環境栄養学分野で適切に保管し、必要な解析が終了すれば5年間の保存期間の後に、適切に破棄する。

3. 研究結果の公表について

本研究の結果は学会や雑誌等で公表することがありますが、公表に際しては特定の研究対象者を識別できないように措置を行った上で取り扱います。

4. 研究資金および利益相反管理について

本研究における特別な研究資金はありません。本研究は、本院の研究費のみを使用して実施されます。本研究の利害関係については、臨床研究利益相反審査委員会の審査を受け、承認を得ております。

5. 本研究への参加を拒否する場合

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

6. 研究責任者および連絡(問合せ)先

【研究機関】 徳島大学病院

【研究責任者】 所属・職名・氏名 徳島大学病院 感染制御部長 呼吸器・膠原病内科（感染制御部）・
特任准教授 東 桃代

【連絡先】

所属・職名・氏名 所属・職名・氏名 徳島大学病院 感染制御部長
呼吸器・膠原病内科（感染制御部）・特任准教授 東 桃代
電話番号 088-633-7305

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までご連絡下さい。